NISSEI

2025年3月期中間期
決算概要について

日精樹脂工業株式会社
2024年11月29日

NISSEI PLASTIC INDUSTRIAL CO., LTD.

2025年3月期中間期　業績の概要

2025年3月期中間期　連結経営成績

単位：百万円　（　）内前期比

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり純利益
2025年3月期中間期	22,105 (△2.1%)	501 (△35.2%)	544 (△32.1%)	315 (△44.2%)	16.48円
2024年3月期中間期	22,580 (△9.6%)	773 (△51.7%)	800 (△53.1%)	565 (△55.1%)	29.19円

売上

・国内および海外での設備投資に対する姿勢が慎重だったことおよび材料価格、エネルギー価格の上昇等から、売上高は前年同期比2.1％減の221億5百万円となりました。

利益

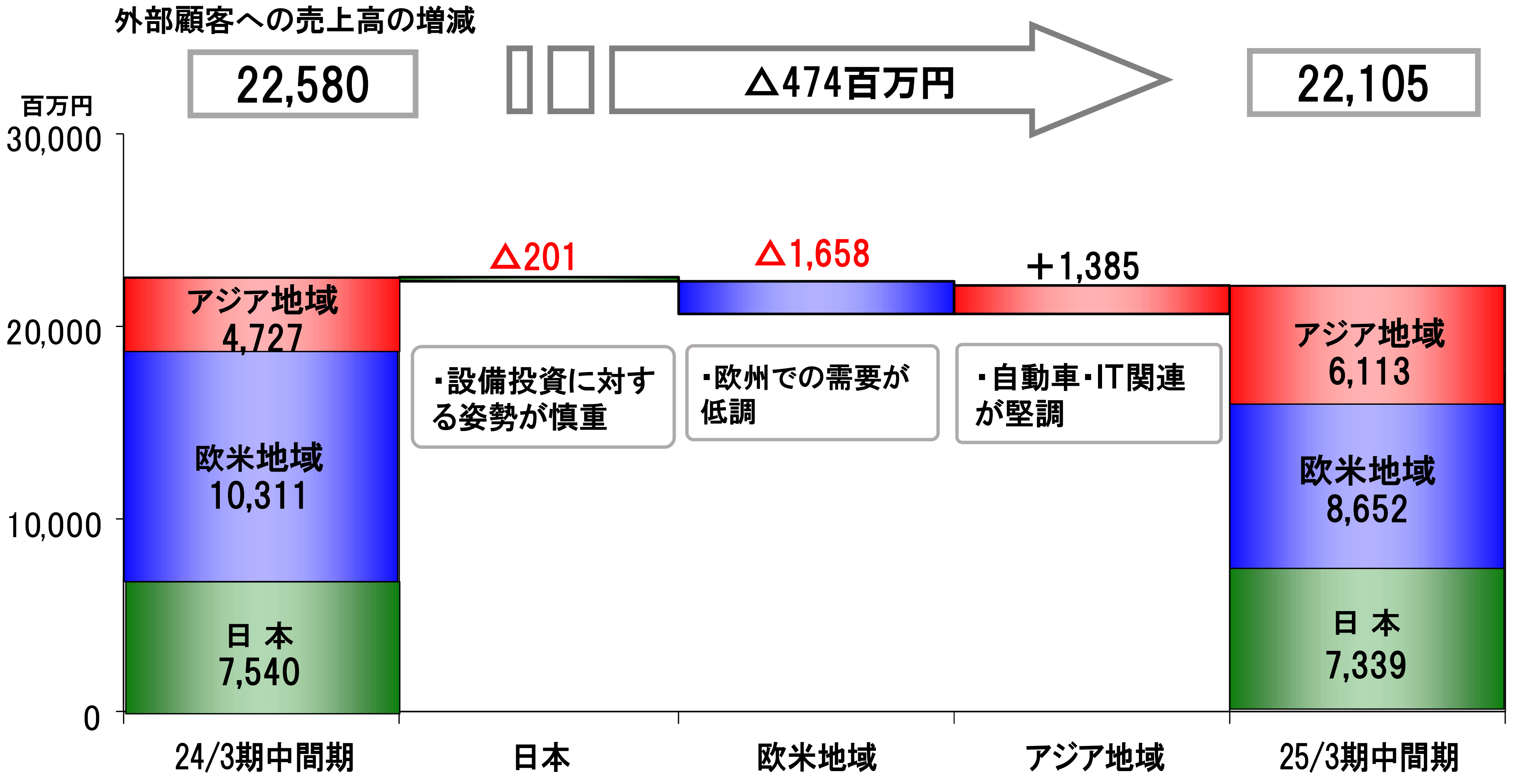
・ 主力である射出成形機の需要が低調であったこと等から営業利益は5億1百万円(前年同期比35.2％減)、この結果、経常利益は5億4千4百万円（同32.1％減）、中間純利益は3億1千5百万円（同44.2％減）となった。

連結業績概要【前年同期比】

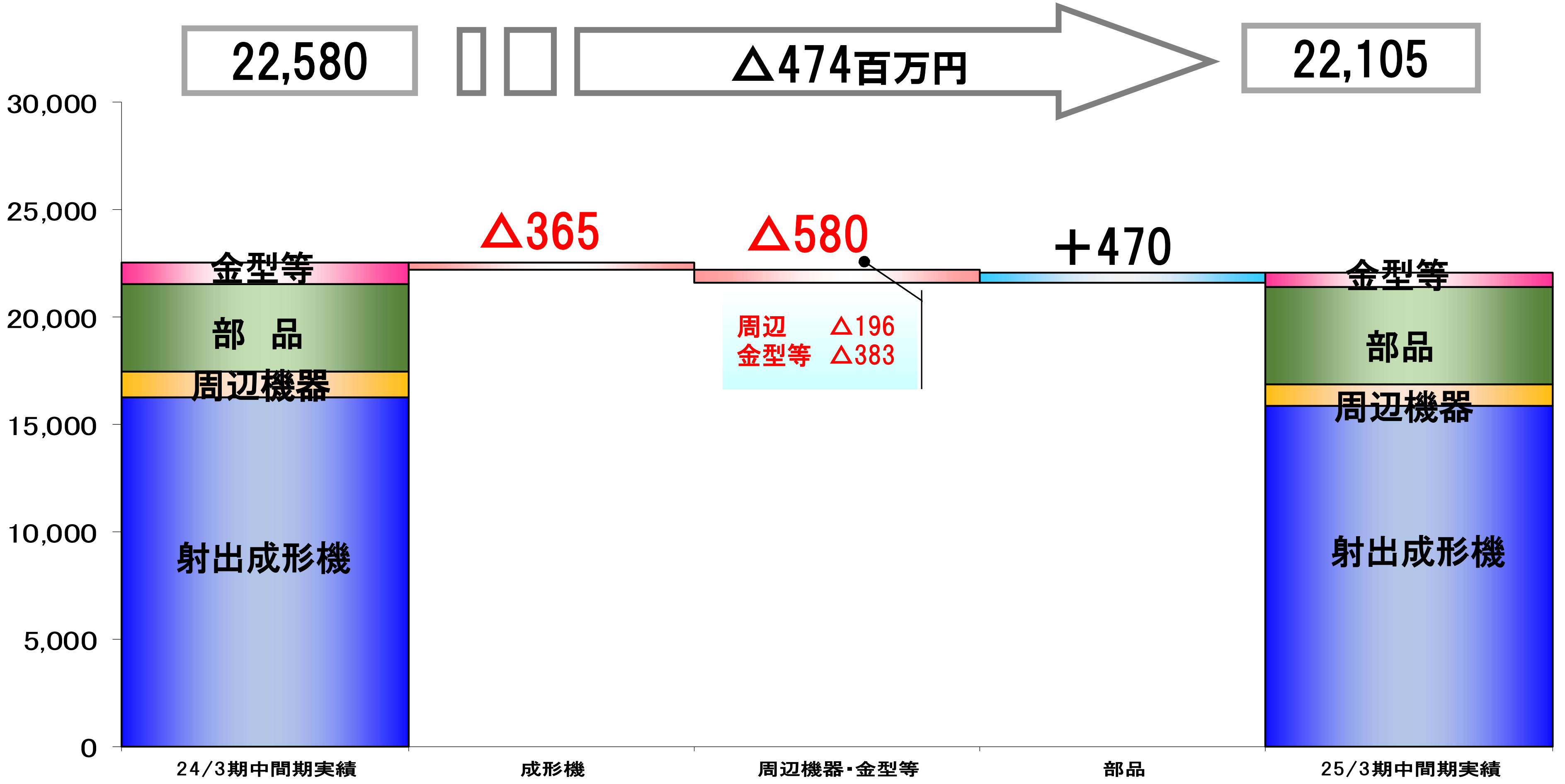
単位：百万円、比率％

	2024年3月期 中間期実績	2025年3月窺 中間期実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	16,265	15,889	△365	△2.2
周辺機器	1,190	994	△196	△16.5
部品	4,078	4,548	470	11.5
金型・中古機	1,045	662	△382	△36.6
売上高合計	22,580	22,105	△474	△2.1
売上総利益	7,263	7,073	△189	△2.6
一般管理販売費	6,490	6,571	81	1.3
営業利益	773	501	△271	△35.2
経常利益	800	544	△256	△32.1
親会社株主に帰属する中間期純利益	565	315	△250	△44.2

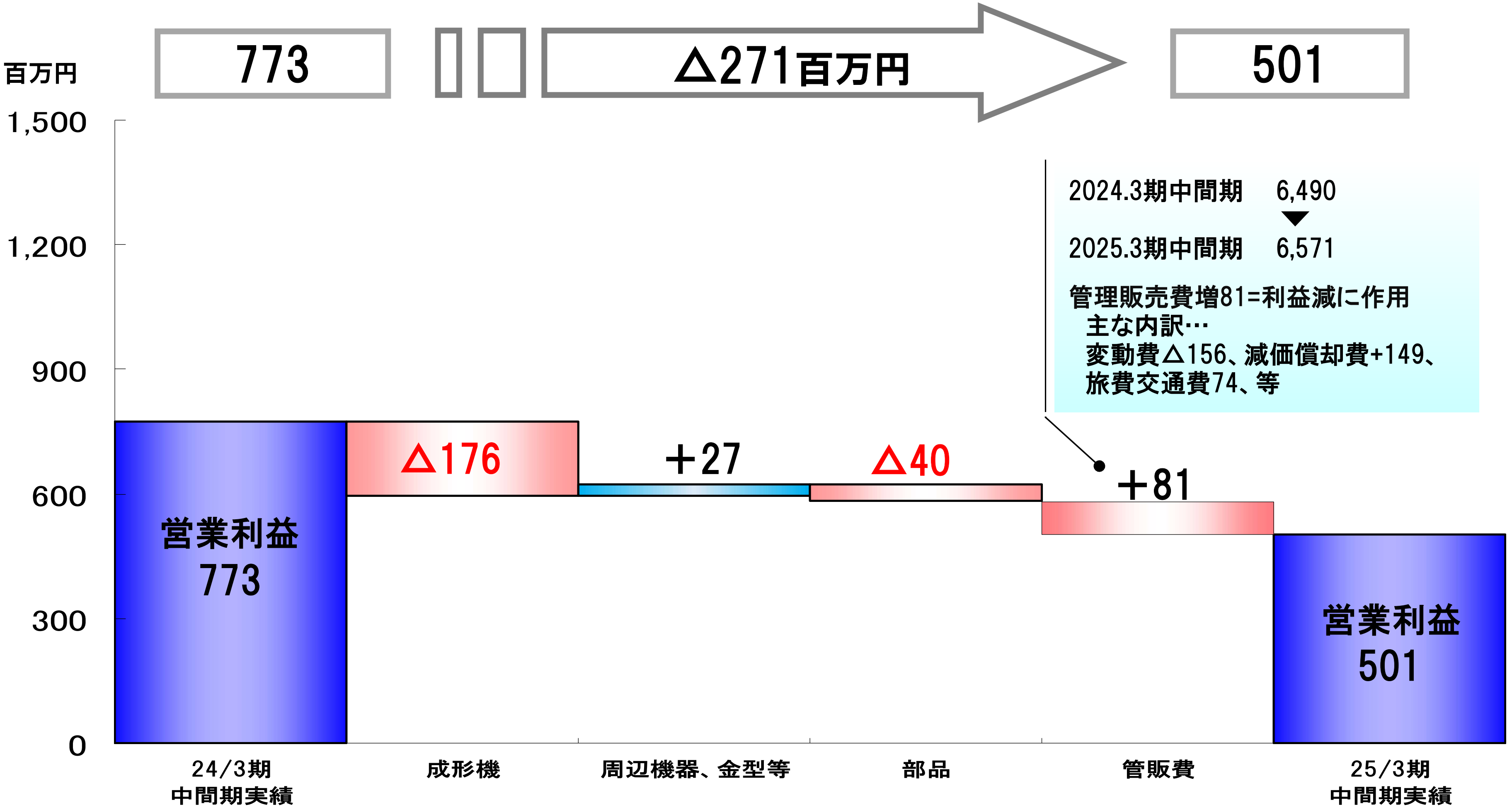
連結売上高(セグメント別)増減　[2024/3期中間期⇒2025/3期中間期]



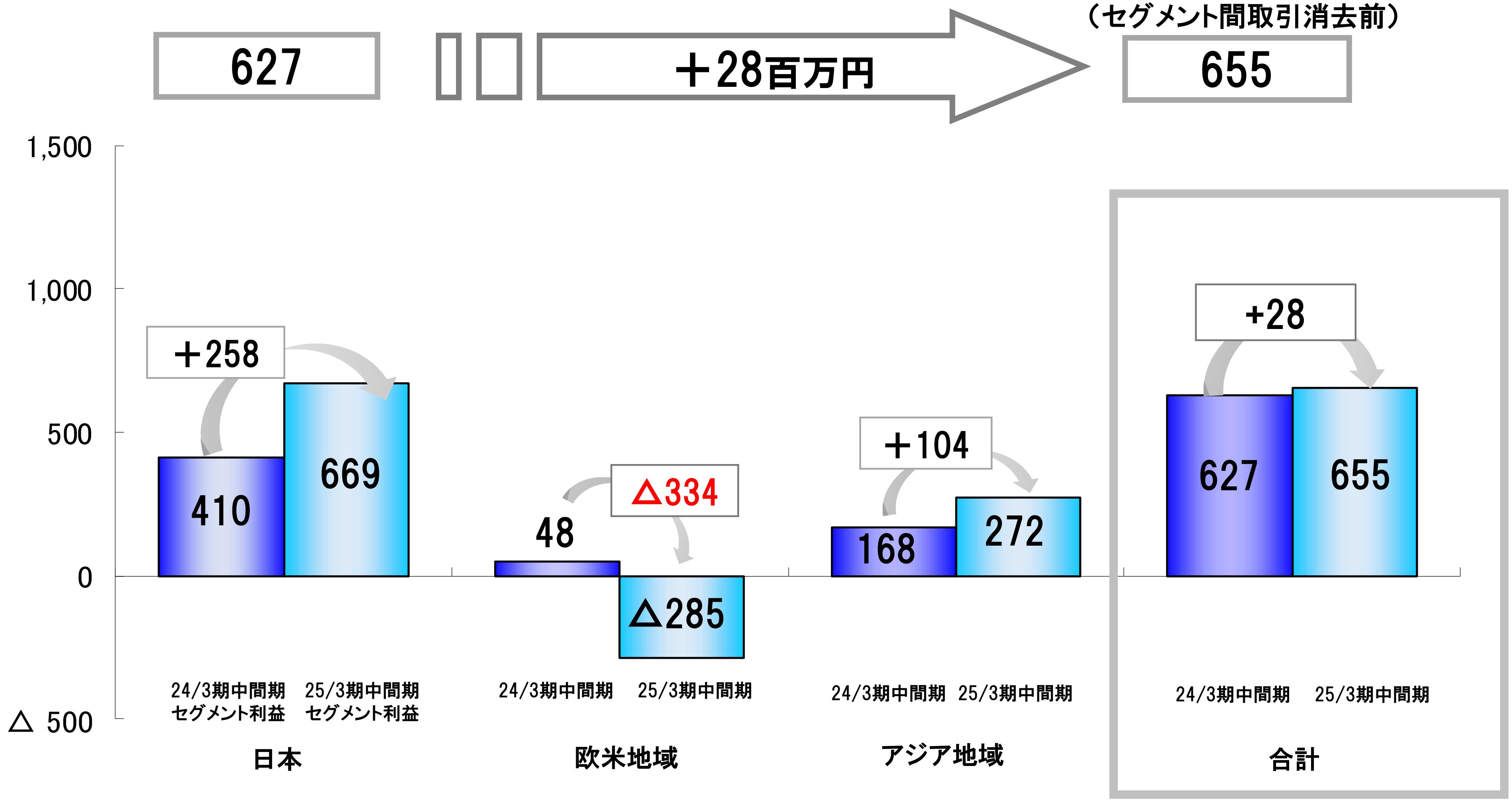
連結売上高(製品別)増減　[2024/3期中間期⇒2025/3期中間期]



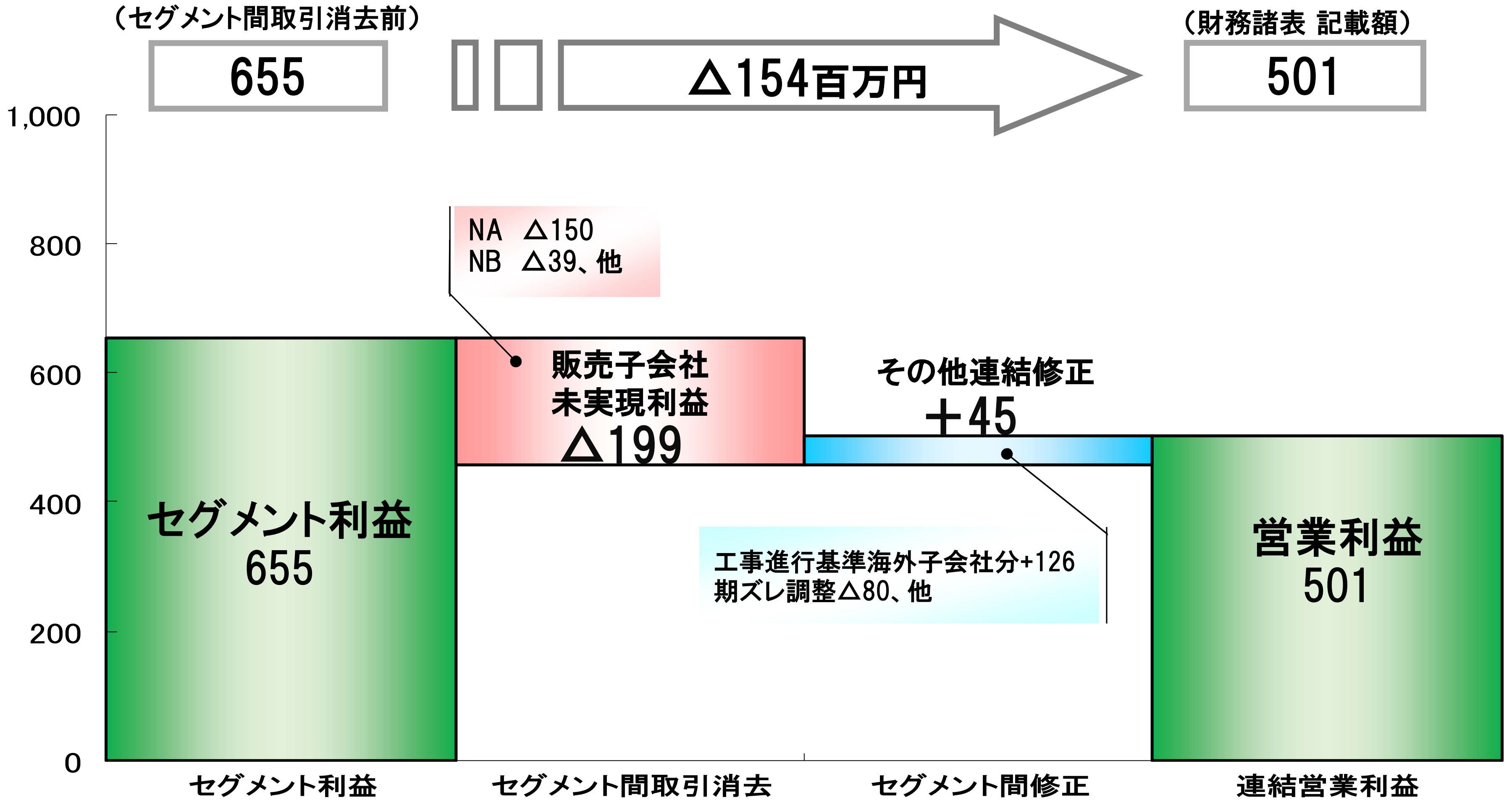
連結営業利益(製品別)増減　[2024/3期中間期⇒2025/3期中間期]



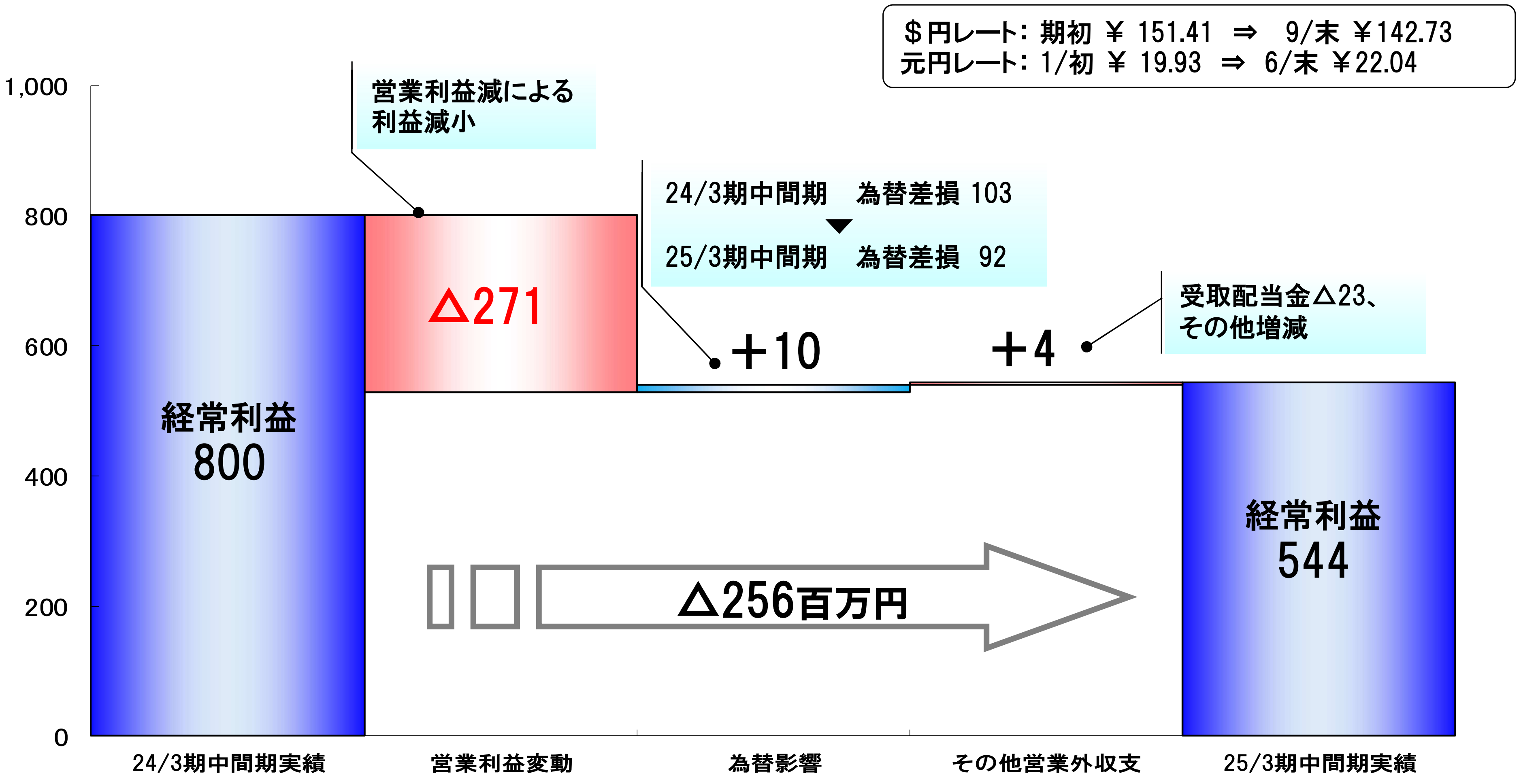
連結営業利益(セグメント別)増減　[2024/3期中間期⇒2025/3期中間期]



連結営業利益　～セグメント間取引消去

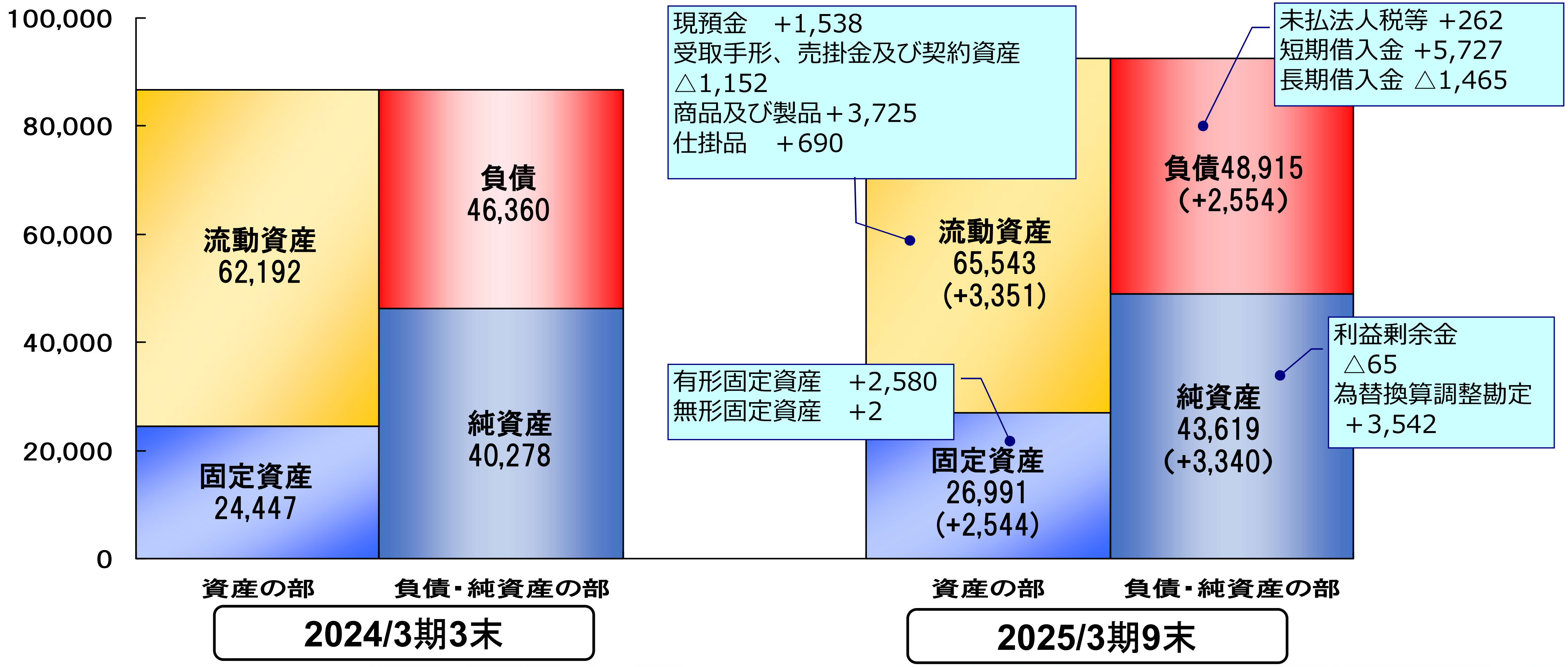


連結経常利益の増減　[2024/3期中間期⇒2025/3期中間期]

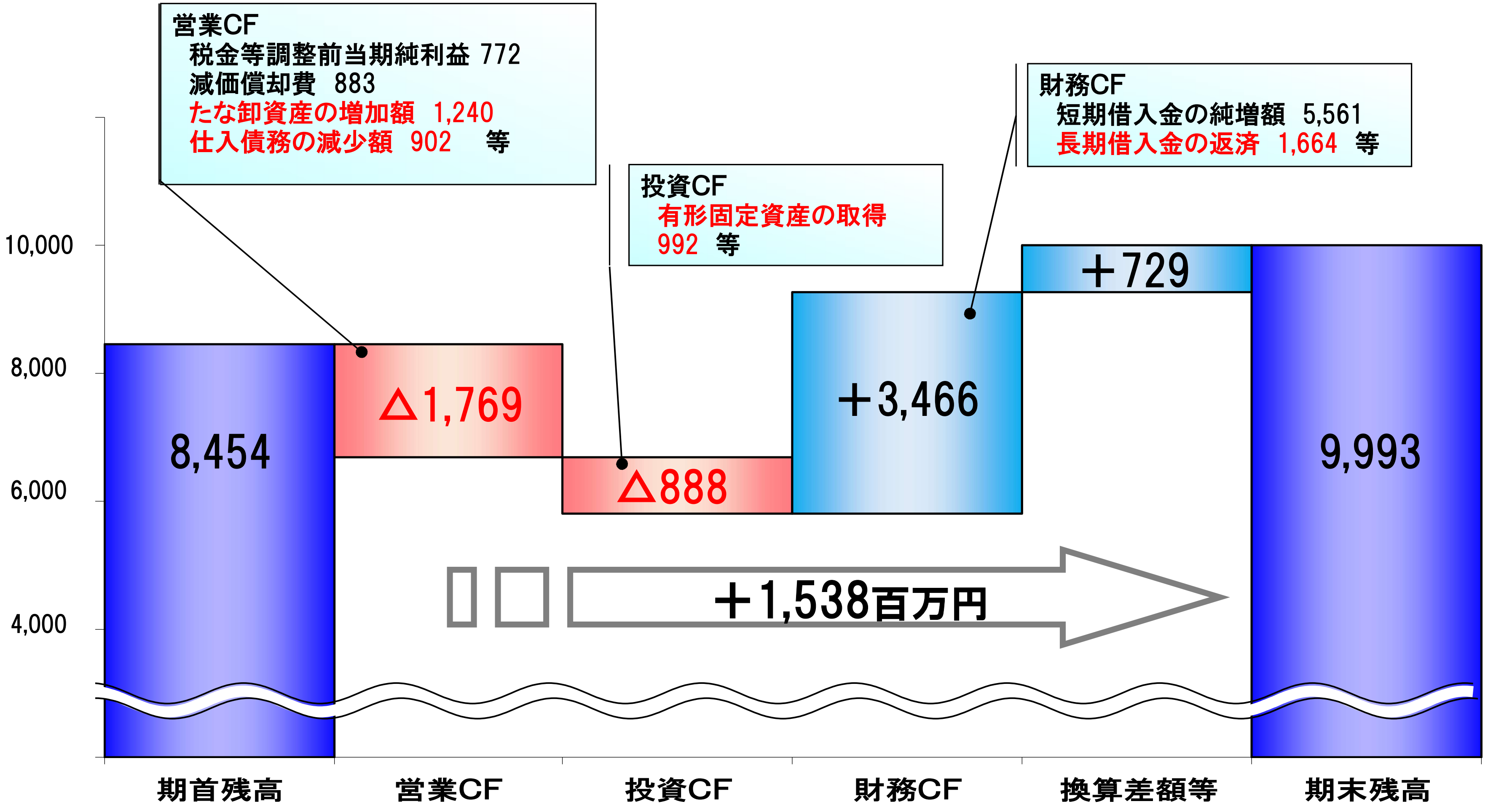


連結貸借対照表の増減　[2024/3期3末⇒2025/3期9末]

86,639 ＋5,895百万円 92,534



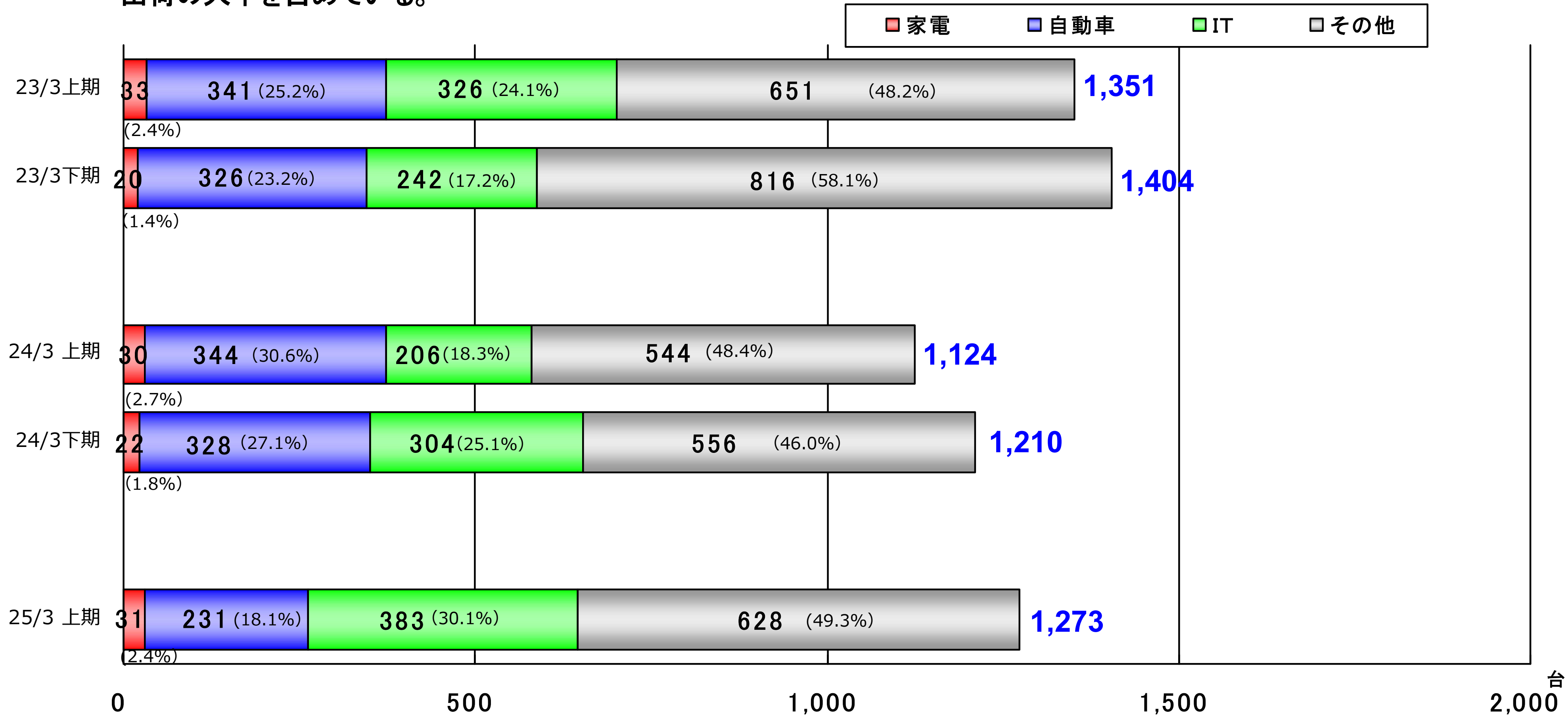
連結キャッシュフロー　～現金及び現金同等物の増減～



射出成形機の需要先別出荷台数推移　(当社)

2025/3期上期
➢自動車…国内横ばい・海外減少
➢IT…東アジア中心に回復

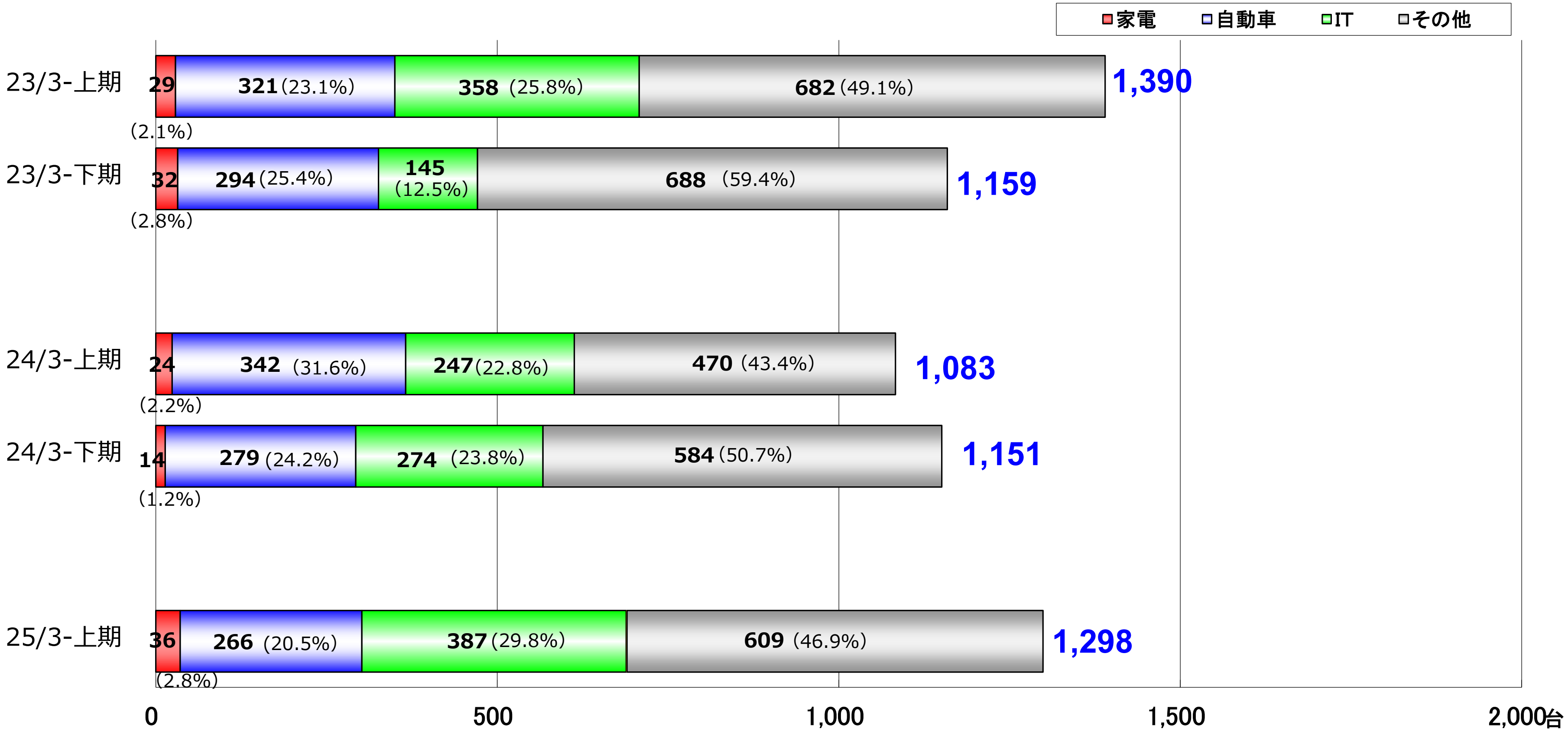
自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。



射出成形機の受注推移

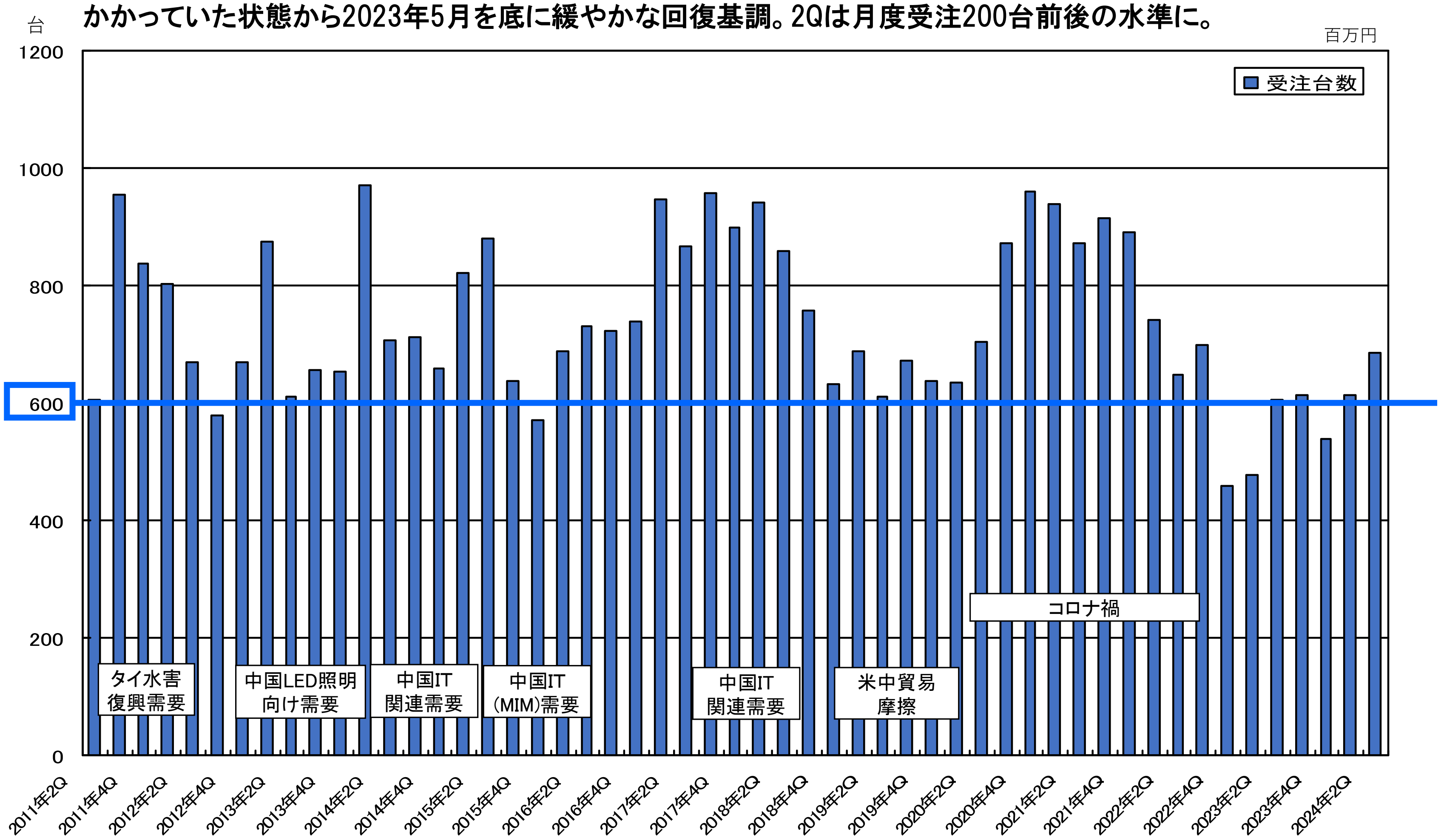
射出成形機の需要先別受注台数推移　(当社)

・25/3期上期の受注台数は1,298台。前年同期比19.9%増。
・自動車は国内横ばい、海外は停滞。
・IT関連は東アジア向けを中心に回復。



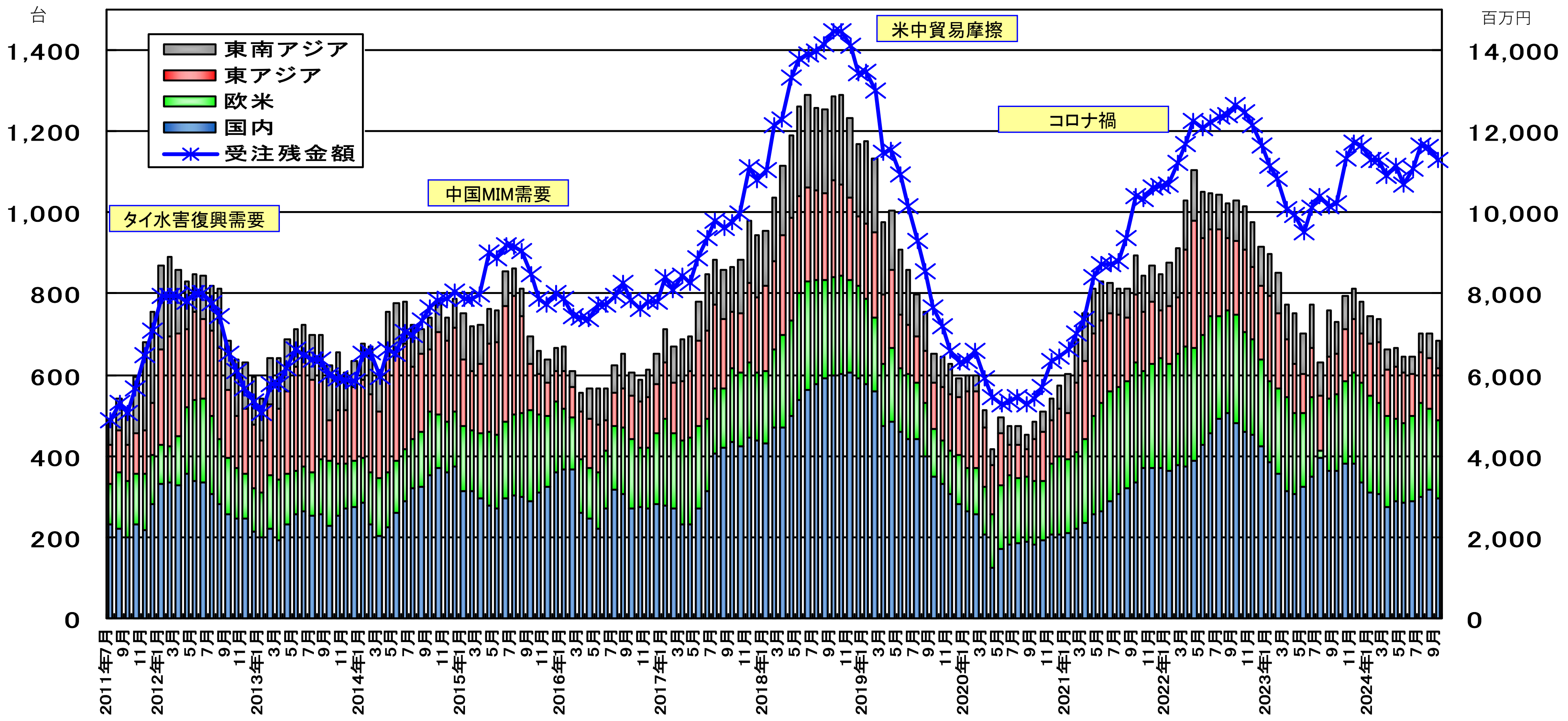
射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)

欧米の利上げやエネルギー価格の上昇、中国の景気減速が不透明感に繋がっていることもあり需要に大きくブレーキがかかっていた状態から2023年5月を底に緩やかな回復基調。2Qは月度受注200台前後の水準に。



射出成形機の地域別受注残台数推移(当社) ※単体における契約ベース

国内外で自動車関連を中心に積みあがった受注残が徐々に出荷されてきたことで台数、金額とも漸減。
底打ちし若干回復したものの、国内外の設備投資姿勢が慎重であること等から足踏み状態。

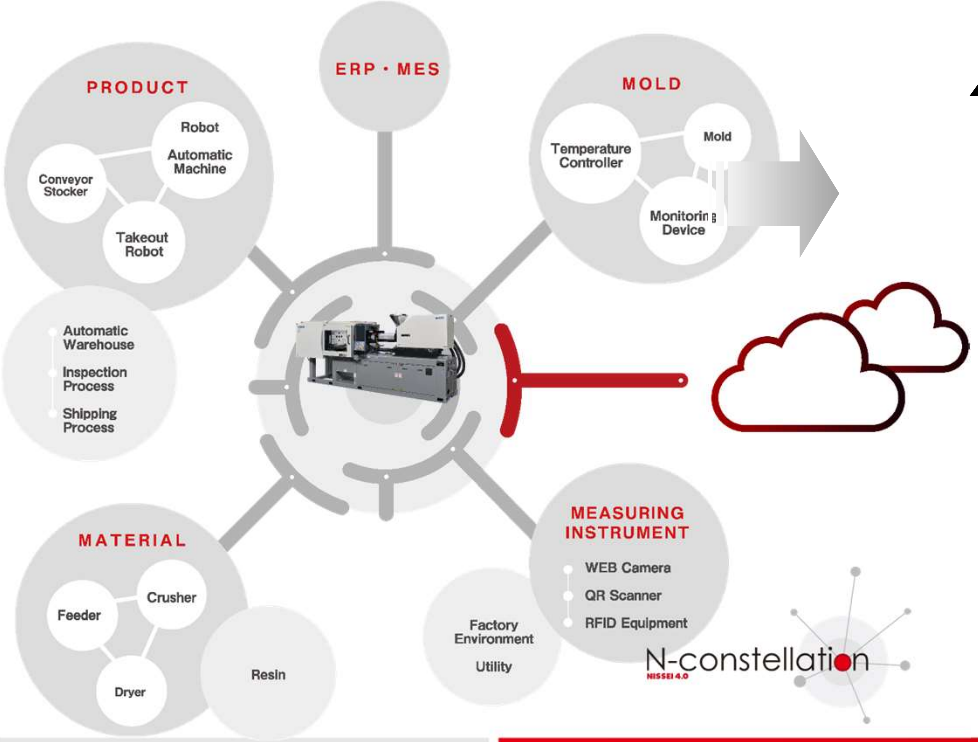


トピックス

技術情報①

プラスチック成形工場のDXを実現するＩoT技術･ＡＩ技術の展開

✓ 世界的な成形技術者不足、人手不足、技術の継承などの製造現場の課題解決に向け、DXやＩoTを活用した生産支援や生産効率の向上につながる製品開発や研究開発を広く展開し進めています。
Ｉ oT、AIサポートの活用によりお客様のDX化に貢献、お客様が利益を創出する“スマート”成形工場の実現に向けた提案を行います。



成形工場のDX化技術

➢ **N-Constellation**

射出成形機が“ハブ”となり様々な周辺機器をつないで業務遂行を支援。収集したデータを有効活用することで、お客様が利益を創出するスマート成形工場の実現に向けた提案を行います

✓ 周辺装置の操作･表示を成形機のタッチパネルに集約し、作業負荷の低減･作業性の向上を実現

✓ PQ ManagerやMES(製造実行システム)等の上位システムと連携することで計画から生産まで一貫したデータ管理が可能

⇒今後当社保有のビックデータとAIツールを活用し、予知保全･成形プロセスの最適化、さらに成形条件設定の自動化等を見据えた開発を進める

技術情報②

段取り作業のDX化技術

➢ 成形条件の最適化

✓ 成形不良現象≒可塑化不良が原因であると考えて開発したソフト“MeltMaster“
MeltMasterは、成形の経験が少なく成形条件出しに困っている方のサポートツール。
お客様が個々の条件を入力することで、最適な溶融状態となる可塑化条件を提示し、
不良を防ぎ、条件出しの効率化を図ることができます。

成形工程のDX化技術

➢ 消費電力の使用状況のリアルタイム表示と回生電力の有効活用

✓ 消費電力の視える化
✓ モータが減速や停止する際に発生するエネルギーを回収し再利用電気を無駄なく使用することで消費電力削減・CO2削減に貢献します。

➢ QRコードを活用した生産管理システム　N-QR Scan

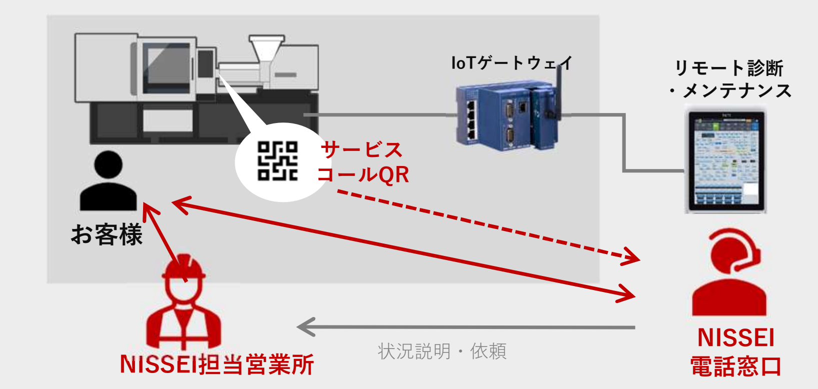
✓ ネットワーク不要で低コストにデータを収集、日報の電子化・自動化を実現

メンテナンスのDX化技術

➢ サービスコールQR・リモートメンテナンス

✓ 射出成形機のタッチパネル上に表示したQRコードをスマホで読み取って送信するだけで、成形機の情報を当社と共有し、サービスコールを円滑化
✓ リモートメンテナンス機能により訪問前に機械の状態診断と実際のモニターデータを共用しながらサポート

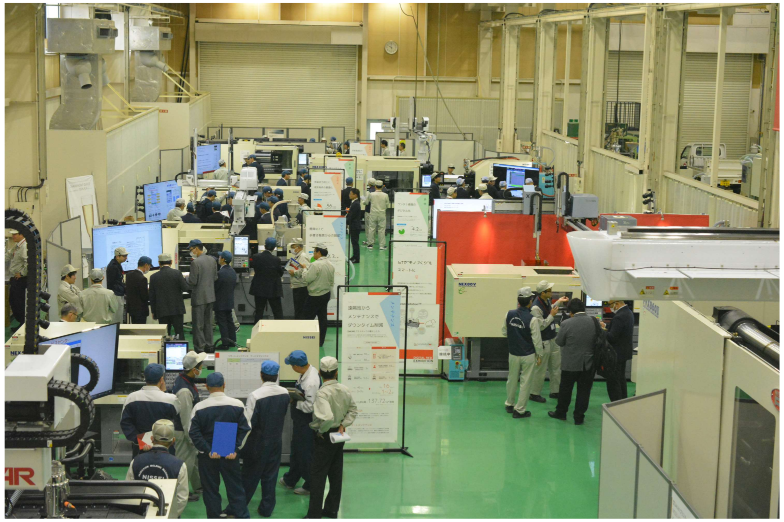
⇒問題発生時の即時対応を実現し、生産の中断を最小限に抑える



展示会情報①

NISSEI RED EXHIBITION in 本社【Digital RED】を開催　***2024.10.22-10.24***

✓ DX、ＩoT、ＡＩサポートなど射出成形のデジタル化をメインテーマとした内覧会を開催。成形工場の3つの工程(段取り・成形・メンテナンス)でのデジタル技術を紹介し、DX、IoT積極導入によるメリット(コスト、工数削減)をそれぞれ算出してご提案しました。



▲会場の様子
成形工場に見立てて展示

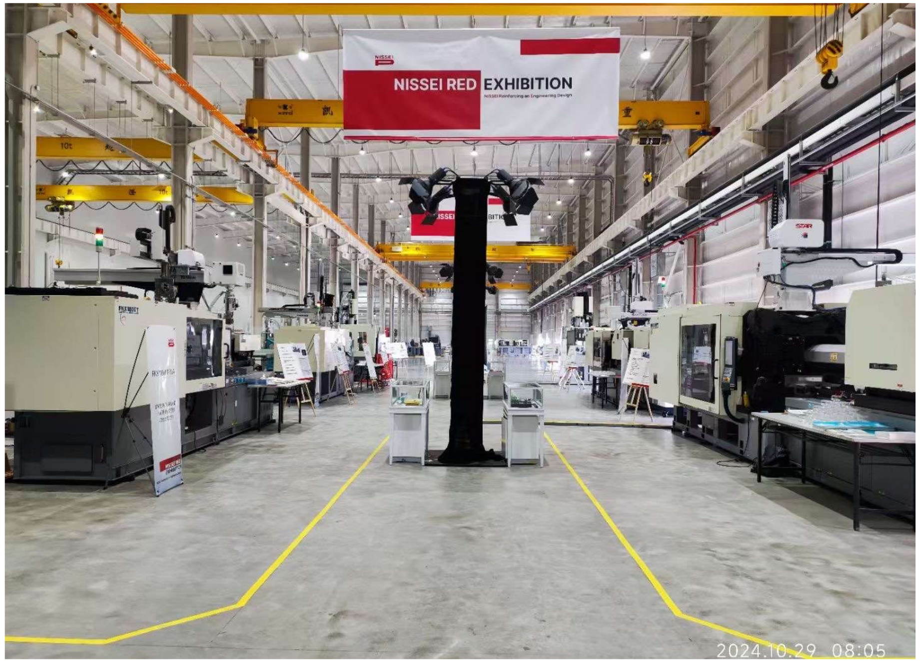
◀ 成形機が成形工場内の設備のHUBになる
N-Constellation
・成形機に周辺機器の情報を集約し表示および制御することで、成形現場のHUBとしての役割を担うＩoTテクノロジーのご紹介

生産計画を崩さない
リモートアクセス／リモートメンテナンス ▶
・遠隔監視、コントローラ操作
・トラブルのダウンタイム軽減
・お問合せ対応の迅速化・円滑化、のご紹介

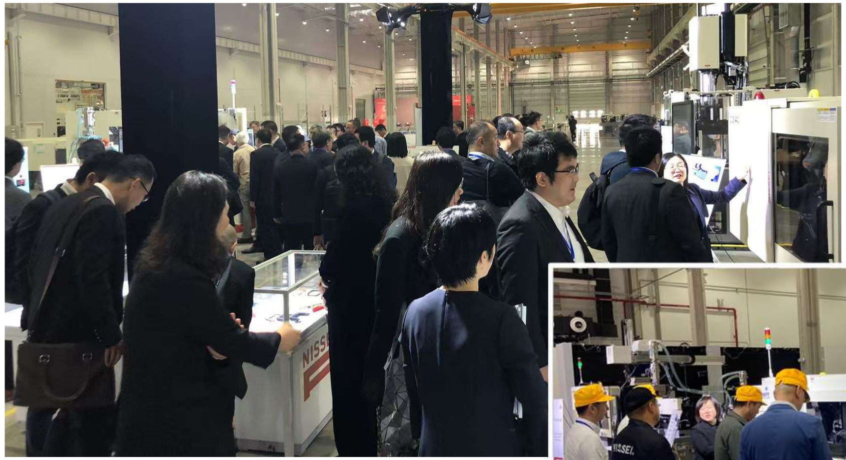
展示会情報②

NISSEI RED EXHIBITION in 海塩工場 を開催 *2024.10.29-10.31*

✓ 海塩工場にて、プライベートフェアを開催。浙江省に多い産業「化粧品」、「医療」、「自動車」をテーマに実演を行い、多くの方にご来場いただきました。また、海塩工場の部品加工生産ライン化による成形機生産能力拡大をPRし、中国市場への安定供給が可能な当社の生産体制を理解していただく機会となりました。



▲展示会場

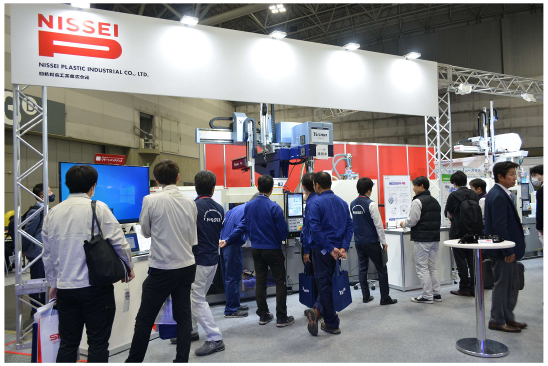


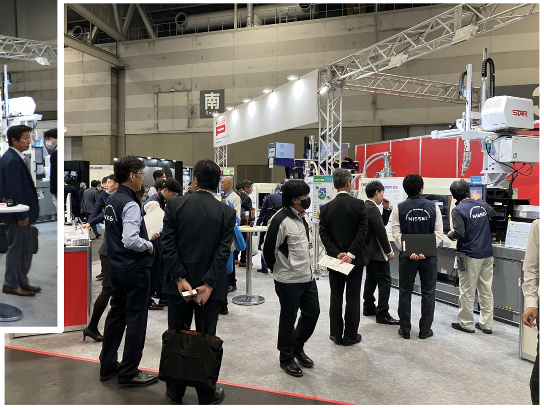
- ✓ 豊富な機種ラインナップをPR
- ✓ 出展機6台中4台は中国生産機
  （横型電気式2台、竪型電気式1台
  竪型ハイブリッド機1台、）

▲内覧会の様子

展示会情報③

名古屋プラスチック工業展2024に出展　*2024.11.20-11.22*





▲展示会場の様子

✓ 当社主力製品である電気式射出成形機およびハイブリッド式射出成形機における独自技術および品質の高さを改めてPRいたしました。DX、ＩoT、ＡＩサポートなど射出成形のデジタル技術についてもご提案させていただきました。
ご来場いただきましたお客様より好評を博しました。

➢ 新型電気式射出成形機による　非強化ＰＢＴの安定成形

NEX80Ⅴ-9E

- ☑ 低圧成形システム“K-SAPLI”
- ☑ 可塑化安定重視“新スクリュ”
- ☑ ハイサイクルで精密成形

➢ 生産性向上・品質向上を実現する　新型ハイブリッド式射出成形機

FNX80Ⅳ-12A

- ☑ 低圧成形システム“N-SAPLI”
- ☑ 均一な型締力を伝達する直圧型締機構
- ☑ 優れたクリーン性能と極限の省エネ

➢ 成形機をHUBとして成形工場のIoT・DX化を実現

- ☑ ものづくりをスマートにする“N-Constellation“
- ☑ 日報・帳票を簡単作成“N-QR Scan”
- ☑ 遠隔地から操作･メンテナンス”リモートメンテナンス”サービスコールQR”

今後のスケジュール

日精樹脂工業は
お客様とともにプラスチックの新しい価値を創造していくため
イベント＆セールスプロモーション『NISSEI RED』を展開しています。

環境負荷を減らし持続可能な社会を実現するための環境対応技術、
お客様が抱える「成形加工における煩わしさ」を解決するためのソリューション技術、
さらにものづくりの高度化を推進するための技術提案・交流の場として、
国内外でプライベート展の開催に注力しています。

イベントテーマ：
Inclusive Growth（包括的成長）

NISSEI RED EXHIBITION in 新潟

〈会　期〉2024年12月4日～5日
〈会　場〉ハイブ長岡（長岡市）

KEY POINTS

- **新潟と北関東地域の顧客開拓**
- **主に、日用品・家電業界に向けたソリューション技術提案**
- **成形工場におけるDX・ＩｏＴ技術のご紹介**

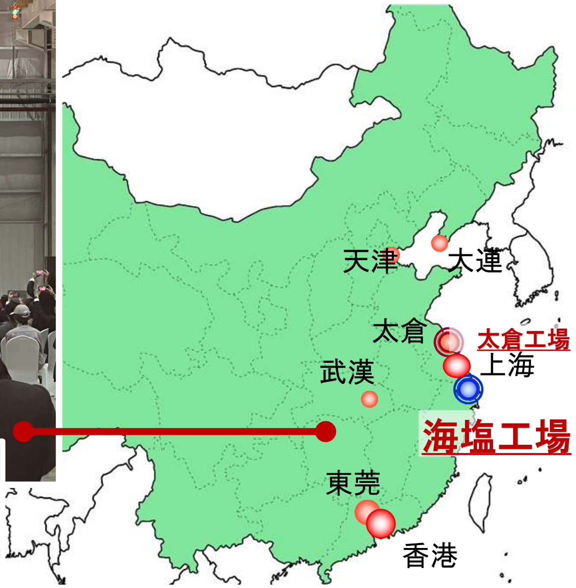
生産拠点情報①

日精塑料機械(海塩)有限公司　開業式典を開催 2024.10.28

✓ 中国第二の生産拠点となる海塩工場の開業式典を開催し、海塩県政府関係者及びサプライヤー等参列の下、盛大に執り行われました。式典後、部品加工生産ライン等の設備を中心に工場見学を行いました。

▲式典の様子

▲大勢の来賓の方



▲工場見学の様子

生産拠点情報②

中国工場、アメリカ工場の体制強化

中国・海塩県

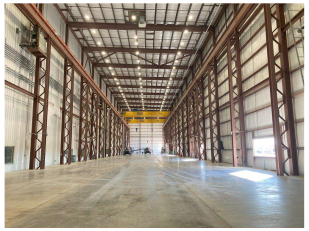
▲日精塑料機械(海塩)有限公司

▲マシニングセンター・
自動搬送装置

- ✓ 射出成形機の主要部材である鋳物の加工を内製化
- ✓ 中国の太倉工場に供給
- ✓ 2025年度以降、日本やイタリア、タイなどの海外工場にも供給

米国・テキサス州

▲Nissei America, Inc.



▲増床工事の様子

- ✓ テキサス工場の隣に新たに敷地面積2,840平方㍍の工場棟を設ける。増床の総工費は約28億円
- ✓ 大型射出成形機3,000tクラスまで対応可能に
- ✓ 今後米国市場で見込まれる住宅設備などの建築資材や工業部品、自動車関係の需要増加に対応
- ✓ メイド イン USA(米国生産回帰)の動きへの対応

2025年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化

2. グローバル市場への積極的展開による営業強化

3. グローバル生産体制の強化

4. グローバルリスク管理体制の強化

2025年3月期中間期　連結損益計画

単位 ： 百万円、比率%

	2024/3期	2025/3期		
	実績	中間期実績	通期計画 (2024.5.14開示)	対通期計画 進捗率%
売　上　高	47,069	22,105	45,500	48.6%
営　業　利　益	1,724	501	1,050	47.8%
(利益率)	3.7	2.3	2.3	―
経　常　利　益	1,340	544	1,150	47.3%
(利益率)	2.8	2.5	2.5	―
当 期 純 利 益	376	315	600	52.6%
(利益率)	0.8	1.4	1.3	―

連結設備投資・研究開発　中間期実績

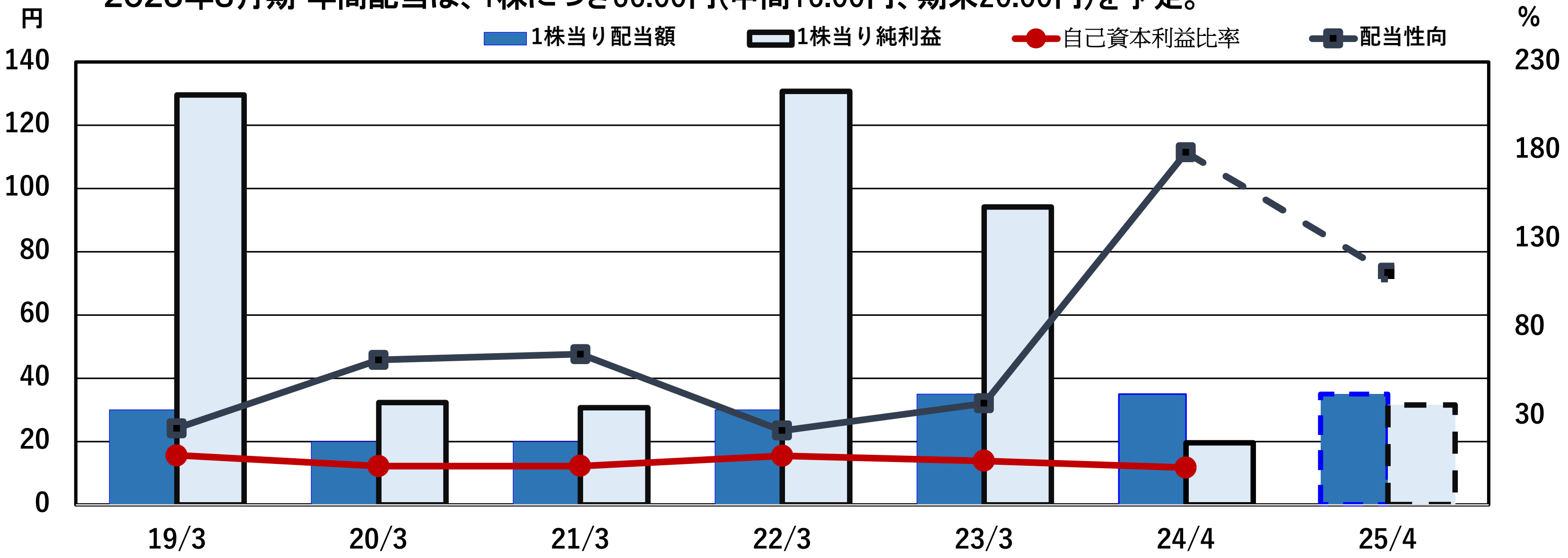
百万円

	2025年3月期　中間期実績	
主な設備等		
	DMS サーバ更新(無形資産)	29
	海塩工場向け加工工具(建設仮勘定=本社)	33
	米国工場増築工事費用(建設仮勘定)	611
	海塩工場建設費用(建設仮勘定)	174
	海塩工場工具	20
	日精ホンマ　電気設備工事	12
	その他設備投資維持投資、ｿﾌﾄｳｴｱ等	164
設備投資総額		1,043
本社出資		
減価償却費		883
研究開発費		235

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・2025年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間15.00円、期末20.00円)を予定。



	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期 (予想)
1株当り純利益	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	94.13円	19.57円	31.52円(予)
1株当り配当額	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円	35.00円	35.00円(予)
中間配当	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円	15.00円	15.00円
期末配当	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円	20.00円	20.00円(予)
配当性向	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	37.2%	178.9%	111.0%(予)
自己資本利益率	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	4.8%	1.0%	—

NISSEI

日精樹脂工業株式會社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。